

事務事業名 ちくしの文化講座事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：656

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090602-03-00
基本事業：	01	ニーズに応じた学習機会の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	生涯学習講座の充足度 市公式ホームページ（生涯学習情報ページ）アクセス件数 生涯学習情報（市広報紙）利用割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成13年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民（小学生以上）		参加者から受講料を徴収し、生涯学習のきっかけづくりとして、カルチャー講座事業を生涯学習センターを中心に開催している。 【短期講座】ヨガ、ピラティス 【1day(1日体験)講座】料理、手芸・工芸、暮らし・実用等 【パソコン講座】Word・Excel等の実務講座、 スマホ・タブレットの活用講座等 【歴史講座】				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
市民の学習ニーズに応じた学習の機会が提供され、市民の学習活動、特に、生涯学習のきっかけづくりとして行うこと。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
受講者数	人	448	370	850	850			1,000
受講者延べ人数	人	1,489	578	3,000	3,000			3,000

5. コスト								
事業費	計	千円	1,734	671	2,128	749		
	国	千円		0	0	0		
	県	千円		0	0	0		
	地方債	千円		0	0	0		
	その他	千円	1,734	666	1,582	435		
	一般	千円		5	546	314		
正職員人工数		人工	0.1	0.2	0.2			
正職員人件費		千円	803	1,584	1,546			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	2,537	2,255	3,674	749		

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	令和3年度から定期講座を廃止したため、受講者数が減少した。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	あり
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	あり
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり
成果向上余地	大きい		

生涯学習推進のため、「学びのきっかけ」を多くの市民に提供している。令和3年度より定期講座を閉講し、自主学習グループに移行することで、学びが継続されている。

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）	
令和3年度に全短期講座を見直すなど、より参加しやすい講座スタイルを検討、ニーズに合った講座の計画する。また、パソコン・スマホ講座の数を増やし、市民のデジタルディバイド解消に努める。	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
生涯学習センター開館にあわせ、高度化・多様化する市民の学習ニーズに応じた学習機会を提供している。	